

ありふれた驚くべき世界
—
あの日、あの場所で、彼らはたまたま高校生だった。

グレイのバリエーション

ドキュメンタリー映画 遠山昇司監督作品

監督：遠山昇司 撮影：竹内友彦／遠山昇司 編集：竹内友彦 製作・配給・宣伝：遠山昇司 2009年 / 日本 / 93分

<http://variation-of-gray.com>

舞台は熊本県天草市にある御所浦島。

自然豊かなこの離島に、広域通信制の勇志国際高等学校は校舎を構える。その授業は、インターネットを利用して行われ、全国に散らばる生徒たちはそれぞれ別々の場所にいながら共に授業を受ける。

そんな彼らが、年に一度だけ島へと集まる、4泊5日のスクーリング授業。短い共同生活の中で新しい出会いと別れを共有し、また、自分たちの世界へと戻っていく。

訪れる生徒たち。彼らを迎える先生たち。そしてイルカや猫。それは、出会いと別れのあるありふれた光景。

映画本編では、インタビュを通してそれぞれの思いが語られ、島を去った後の生徒たちの姿が映し出される。

この映画に登場する高校生たちは、白でも黒でもないグレイな存在として描かれる。そして、グレイという色は無数の微妙な色調によって満たされている。白か黒かという情報調の二極化が進んでいるこの世界で、豊かな色調を内包するグレイという色。

島という舞台で経験される出会いと別れ、そして出会いから生まれる新しい関係、それを見つめる人たち。この映画の中で特別なものは一つも描かれていない。ありふれた驚くべき世界があるだけである。

2009年10月3日(土)より熊本 Denkikan にてロードショー